

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	641
部 名	環境事業部	課 名	橋本台収集事務所	課長名	大関 昭雄
事務事業名	施設維持管理事業				
予算上の事務事業名	橋本台収集事務所				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21220		
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくれます				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				事業開始年度
施策名	第2施策 廃棄物の適正処理の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 建物に置ける衛生的環境の確保に関する法律 消防法				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	▼				
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)</p> <p>収集事務所に勤務する職員に対して、清潔かつ安全性が保たれた建物管理を行うことにより、収集作業の効率化を計る。また、資源の有効活用に配慮した施設管理を行なう。</p> <p>(2) 対象 (誰、何)</p> <p>橋本台収集事務所に勤務する職員</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。</p> <p>不要な電源、スイッチの切り忘れチェックや、夏季、冬季における室内温度管理 (冷・暖房機の温度調整) を行った。</p> <p>総事業費 9,996千円 需用費 4,957千円 (電気料2,690千円) 役務費 110千円 委託料 4,884千円 使用料及び賃借料 45千円</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	9,648	10,038	9,996	10,220	10,220
一般財源	9,648	10,038	9,996	10,220	10,220
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	801	807	805	805	805
事業コスト合計	10,449	10,845	10,801	11,025	11,025
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	橋本台収集事務所施設維持管理事業			対象名称 と単位	職員数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	2,694	2,591	2,690	2,850	2,850
対象数	104	100	100	99	99
単位あたり経費(円)	25,904	25,910	26,900	28,788	28,788
前年度比		1.00	1.04	1.07	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	スイッチOFF運動	指標式と指標の説明	1日の平均施設内巡回回数。不要な電源スイッチの切り忘れを防ぐ。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	2.0	3.0	3.0		
目標	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	電気使用料	指標式と指標の説明	1-（当該年度使用料/前年度使用料-1）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	1.0	1.0	1.0		
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
目標達成度（%）	101.0	104.0	96.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		おおむね良好な状況であるが、なお一層節電、省エネに努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
職員全体が、省エネ、環境配慮行動を行うため、更なる意識の向上を図る。			光熱水費は気象に左右されるため、年により上昇する。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			